

## 2021年度 群馬パース大学 FD 活動報告書

2021年度は、前年度より引き続き、収束の気配が見えないコロナ禍において様々な制約を受けながら、これまでの活動を継続するよう努めた。

以下のようなFD活動を推進したので、報告する。

### I. 学生による授業アンケート

Web上で一定期間を定めて回答させる方式をとり、回答率が低い場合は期間を延長する措置を取ったが、学科間でかなりのばらつきが出た。

授業アンケートの実施の流れに関して、前年度は記述回答について教員への返却が必要な記載かどうかの確認を各学科長および教養部責任者に依頼し、そこで抽出された内容を教務委員会に報告する必要があるかについてFD委員全体で確認していたが、センシティブな内容を含む場合もあることから、委員全員が全学科分の記述回答を確認することは避けたほうがよいのではないかとの意見が出され、2020年度前期分は、教員へ返還するもののうち、学科長から必要と判断されたもののみをFD委員会での確認・協議することとした。その結果、今回は対象となる記述はなかった旨事務局より報告があった。

### II. 授業中間アンケート

例年どおり、授業期間中において学習状況の確認と授業の改善すべき点の明確化を図り、授業改善の機会を保障することを目的とする授業中間アンケートを「推奨」の形で実施した。

### III. 学外実習評価アンケート

学外実習のアンケートは、各学科単位で行われた。今年度の学外実習は、実習施設の辞退など、新型コロナによる制約を大きく受けた。

### IV. ピアレビュー

特に期間を設けずに、授業公開者と見学希望者の合意で報告制としているが、ここ数年は参加率が低く、以前のように期間を設けるべきという方向にある。

### V. 学生FD推進

昨年度に続きコロナ禍のため、活動休止状態となったままである。新型コロナが終息後に再開予定である。

### VI. FD研修会

今年度は「LGBTについて」をテーマに筑波大学 人間系 障害科学域 助教授 河野 禎之先生（学外からオンラインで参加）を講師として9月7日（火）に行われ活発な議論が行われた。

<FD研修会の様子>



## VII. 教育研修体系による研修

2021年度ファーストレベル2年目研修として、「医学教育の基本（カリキュラムプランニングの基礎）」を研修テーマに、教育の役割、医学教育課程編成の基本について理解を深め、具体的な授業実践能力である授業目標・展開（方略）・評価を身に付けるための基礎を培うことを目的として岐阜大学 医学教育センター センター長・教授 藤崎 和彦先生（学外からオンラインで参加）を講師に迎え、2022年3月8日（火）に教育経験5年未満の教員を対象として（対象者以外も希望があれば参加可能）行われた。

<研修の様子>

